

【調査結果データ】

1. 企業が取り組む社会貢献活動＜対象：企業に所属する男女 784 名（男性 510 名、女性 274 名）＞

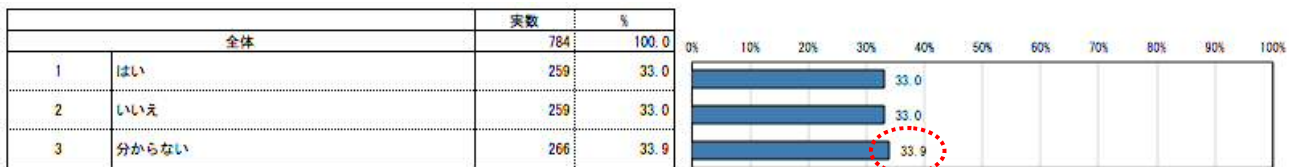
「あなたが所属する企業が社会貢献活動に取り組んでいるか」という質問に対し、「はい」と答えた人数が調査対象者 784 人の 33%（259 人）であったのに対し、「分からない」と答えた人数が 34%（266 人）という結果になりました。

また、「あなたが所属する企業が行う社会貢献活動に参加した経験があるか」という質問に対し、「いいえ」と答えた人数が「はい」を大きく上回り、58%（455 人）となり、一方、「あなたが所属する企業はもっと積極的に社会貢献活動に取り組むべきか」という質問に対しては、46%（361 人）が「はい」と回答しました。

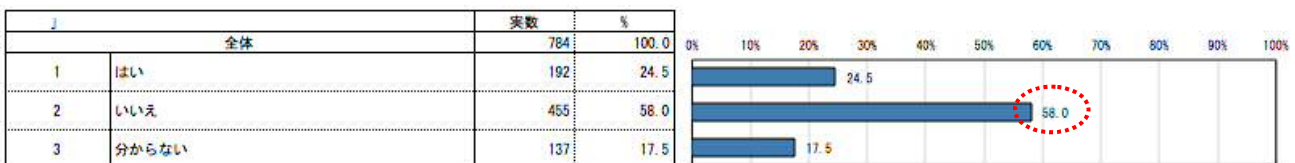
社会貢献活動に参加するために必要な要素としては、「時間的な参加のしやすさ」や「手続き的な参加のしやすさ」が 64.5%（505 人）を占めており、社会貢献活動へ参加するための仕組みを企業側が従業員に対してどのように提供できるかが、企業の社会貢献活動の活性化につながると考えられます。

このほか、中小企業（従業員数が 300 人未満）と大企業（従業員数が 300 人以上）との比較において、大企業に所属する人の方が社会貢献活動への参加経験が 15.6%ほど高く、差が確認できました。

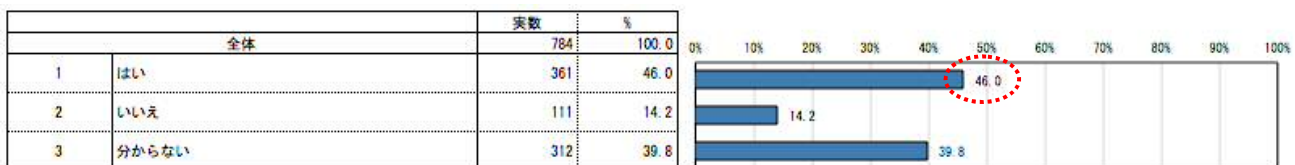
【図 1】 問：現在あなたが所属する企業や団体は、社会貢献活動に取り組んでいますか。



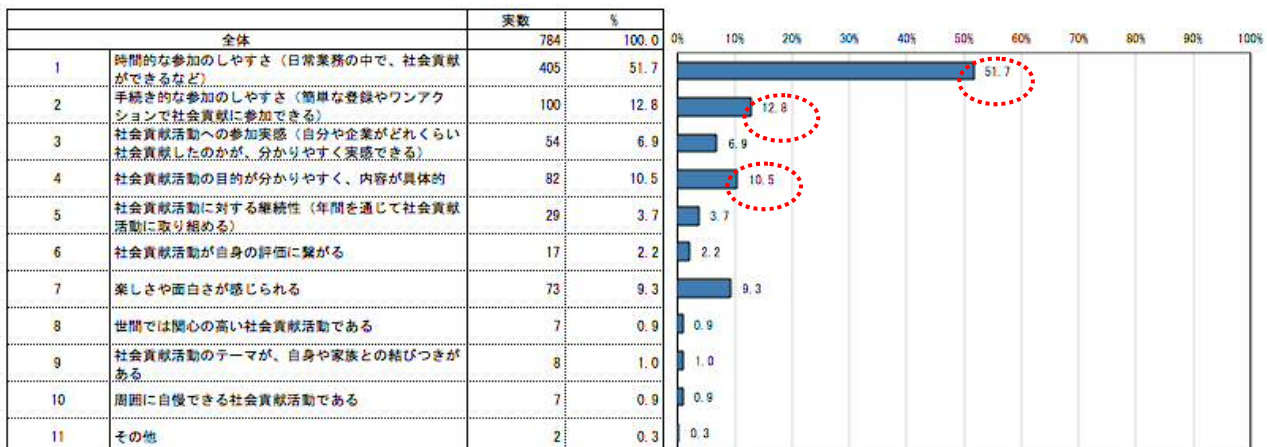
問：あなたは、現在自身が所属する企業や団体が行う社会貢献活動に、参加した経験がありますか。



問：現在あなたが所属する企業や団体は、もっと積極的に社会貢献活動に取り組むべきだと思いますか。



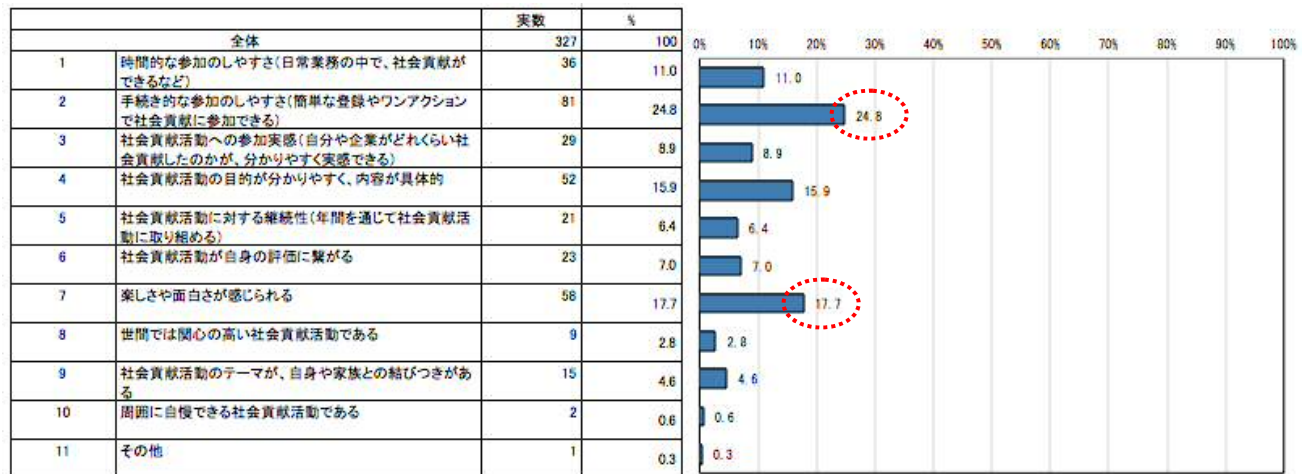
【図 2】 問：もし所属する企業や団体に取り組む社会貢献活動にあなた自身が参加する場合、必要な要素は何ですか。



【図3】問：あなたは、現在自身が所属する企業や団体が行う社会貢献活動に参加した経験がありますか。
 (大企業と中小企業の比較)



問：もし所属する企業や団体に取り組む社会貢献活動にあなた自身が参加する場合、必要な要素は何ですか。(中小企業)

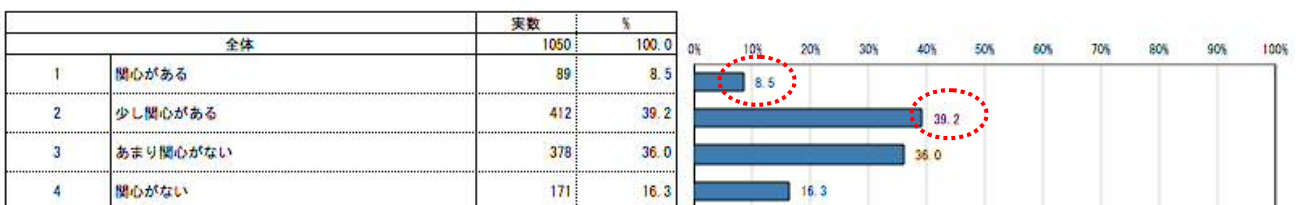


2. 社会貢献活動への関心<対象：一般の男女 1050 名(男性 625 名、女性 425 名)>

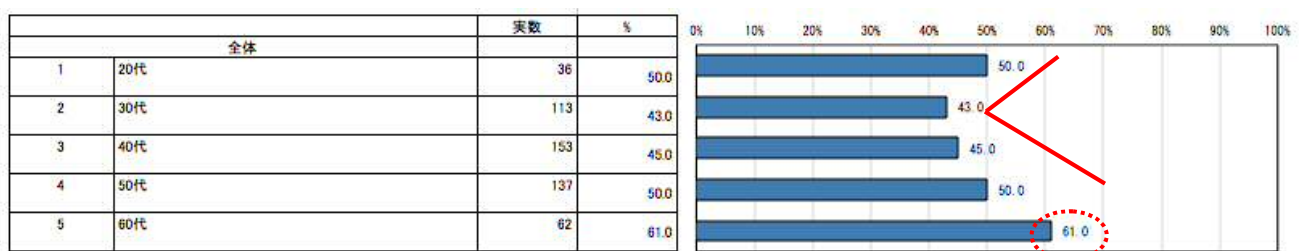
社会貢献活動に対して関心があるかという質問に対し、「ある」と答えた人数が調査対象者 1050 人中の 47.7% (501 人) という結果になりました。年代別では 20 代が 50% (72 人中 36 人)、30 代が 43% (264 人中 113 人)、40 代が 45% (338 人中 153 人)、50 代が 50% (274 人中 137 人)、60 代以上が 61% (102 人中 62 人) と、社会貢献活動に対するシニア層の強い関心と、若い世代における社会貢献活動への関心回帰の傾向が伺えます。

また、社会貢献活動へより積極的に取り組むために必要な要素は何かという質問に対し、「気軽に社会貢献ができる (36.2%)」、「簡単なアクションで社会貢献に参加できる (17.6%)」、「楽しさや面白さを感じることができる (12.1%)」など、社会貢献活動に関する気軽さ、簡単さ、楽しさの 3 要素が重要であることが示されました。

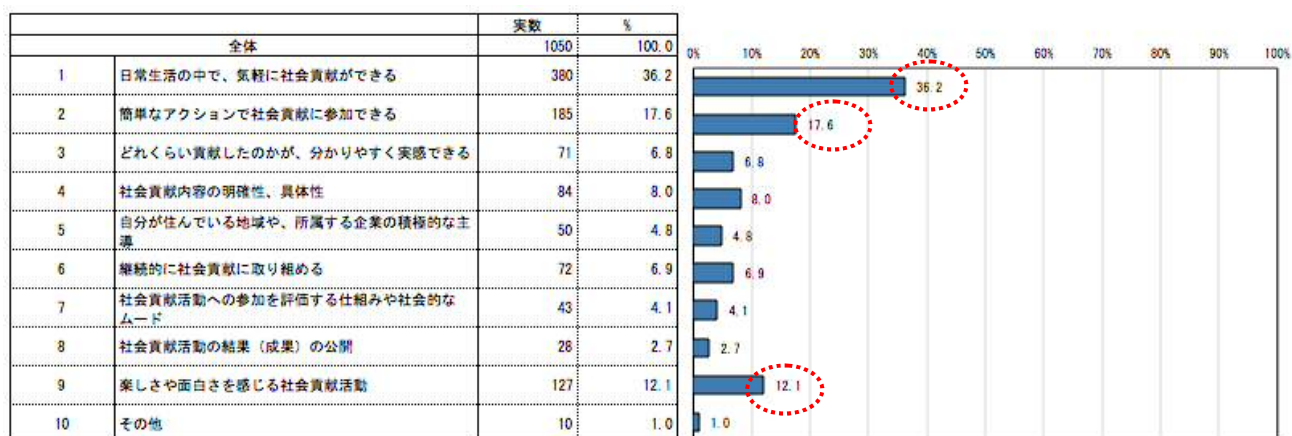
【図4】問：あなたは、寄付やボランティアなどの社会貢献活動に関心がありますか。



問：あなたは、寄付やボランティアなどの社会貢献活動に関心がありますか。(世代別)



【図5】問：あなたが今後、より積極的に社会貢献活動に取り組むためには、どのような要素が不可欠だと思いますか。

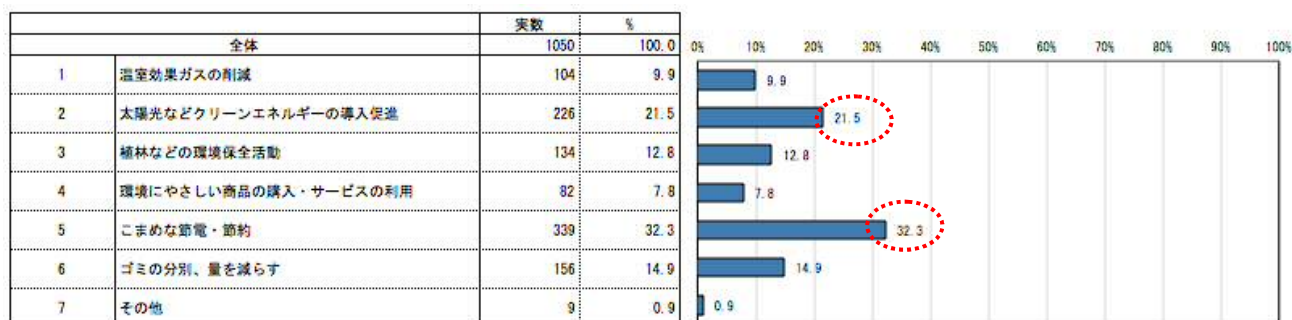


3. 環境貢献活動への関心

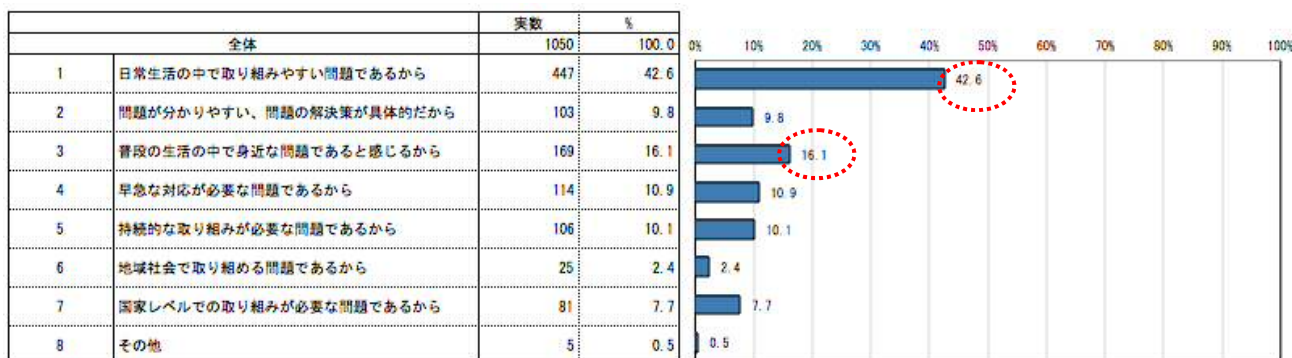
最も関心が高い環境貢献活動は何かという質問に対して、「こまめな節電・節約」が32%(339人)で最も多く、次いで「太陽光などクリーンエネルギーの導入促進」が22%(226人)となり、近年のエネルギー問題に対する関心の高まりを反映した結果となりました。

関心を持った理由として「日常生活の中で取り組みやすい(42.6%)」や「普段の生活の中で身近である(16.1%)」など、身近なことからできる環境貢献活動に関心が集まる傾向が確認できました。

【図6】問：あなたが、最も関心の高い環境貢献活動は何ですか。



問：その理由は何ですか。



4. インターネットを活用した社会貢献活動

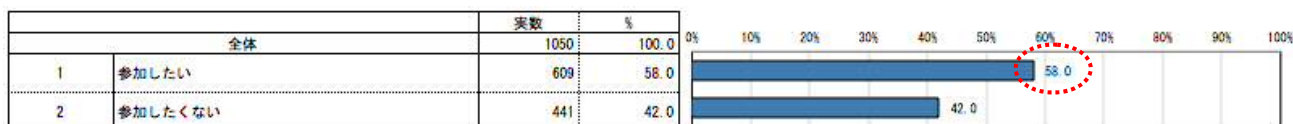
インターネットを利用した社会貢献活動に興味があるかという質問に対して「ある」と答えた割合は全体の58%(609人)という結果になりました。また、インターネットを利用した社会貢献活動に興味を持っている理由については、42.2%(257人)が「ワンクリックなど、簡単なアクションで社会貢献に参

加できる」と回答し、インターネットが手軽に社会貢献活動を行うことができるツールとして期待されています。

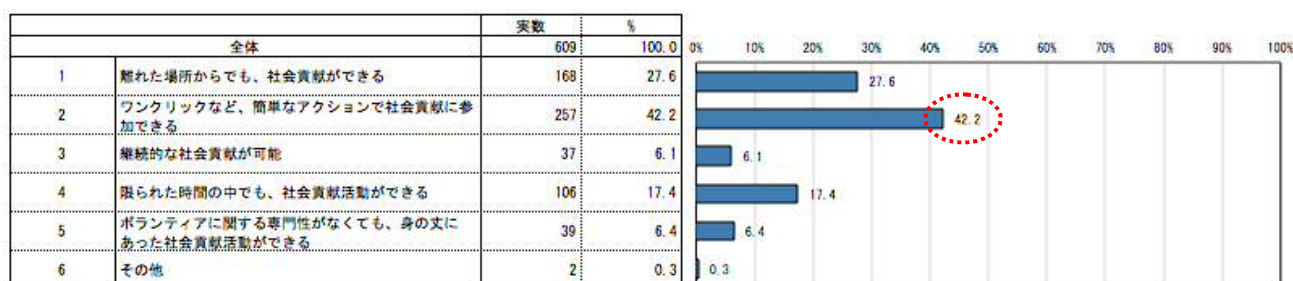
このほか、インターネット上で行う社会貢献活動として、関心があるものは何かという質問に対して、クリック募金(34.1%)や「緑のgoo」といったインターネットを利用することで寄付できる活動(22.9%)に加え、「インターネットを活用した社会貢献活動のみえる化(16.2%)」が高い関心を示す結果となりました。

また、「SNS 上での情報シェア」「スマートフォンを使った社会貢献活動」「クラウドファンディング」といった項目において、20代が他の世代と比べ高い関心を示しており、今後の社会貢献活動におけるICTとの連携が重要となってくることが予想されます。

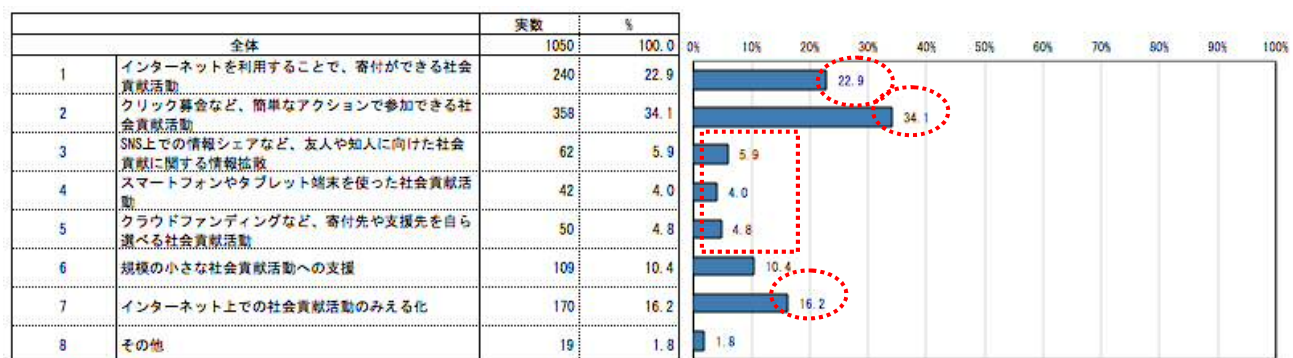
【図7】 問：あなたは、インターネット上で行える社会貢献活動に参加したいと思いませんか。



問：インターネット上で行える社会貢献活動に参加したいと思う理由は何ですか。



問：インターネット上で行う社会貢献活動として、あなたが最も関心のあるものは何ですか。(全世代)



(20代)

